



# 岡山勝廣 後援会だより

豊かな大地  
青い海空



創ろうみんなに住みよい六ヶ所村を

第22号



平成22年1月

発行元 岡山勝廣後援会 〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎 1031-11

TEL 0175-74-2557 (FAX兼)

ホームページ: <http://www.kokayama.com/>

メールアドレス: [koka@jomon.ne.jp](mailto:koka@jomon.ne.jp)

新年あけましておめでとーございます。

皆さまにはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。この平成22年が皆さまにとって素晴らしい1年になりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

## トピックス

岡山勝廣君、一般質問に立つ

質問 六ヶ所村高齢者無料入浴券交付の運用について

質問 六ヶ所村でのAM・FMラジオの受信障害の改善について

質問 尾駈レイクタウン北造成地の緑化について

(1~2ページ)

(2~3ページ)

(3~4ページ)

平成21年12月六ヶ所村議会定例一般質問

(1)六ヶ所村高齢者無料入浴券交付の運用について

岡山議員

21年度の3月の定例会に於いて六ヶ所村高齢者無料入浴券の交付についてご質問させて頂きましたが、再度その利用に関する現在の状況と実績をお伺いしたいと思います。

前回の回答に於いて、交付対象者の年齢基準を毎年3月31日現在で満70歳以上と定めており、事業をスタートさせてから3年が経過し、年齢基準についても理解されつつあると思いますので、今しばらく現状で運用したいと考えているとの事でしたが、年1回の交付では誕生日により最大1年



待つ事になり村民からは現状を理解する程に納得出来ない、疑問と不満の声が聞こえております。

永年にわたり社会に貢献した高齢者に対し無料入浴券を交付し、入浴の促進を通じて高齢者の生きがいと健康増進に取り組むと言つのがそもその目的であると認識しておりますが、この様な声が出る事について、どの様にお考えなのかをお伺い致します。

**古川村長**

の回答

無料入浴交付事業開始からの実績を見ると、18年度・19年度とも総交付枚数約75,000枚中、利用枚数約33,000枚、利用率は44%、20年度は77,100枚中、利用枚数約33,200枚、利用率は43%となっております。金額では、18年度で約10

00万円、19年度約1,100万円、20年度は約1,300万円となっております。また、今年度の利用見込額は、前年度と同額の1,300万円を予定しております。

この事業は、高齢者の生きがいと健康増進に資することを目的に5ヶ年計画でスタートした事業であり、来年度は5年目にあたります。

事業の目的につきましても、村民の皆様への理解が深まり定着化してきており大好評を頂いているところでありますが、一部の村民には議員からもありましたように誕生月により最大で1年間も交付が延ばされるといふ不満の声があると伺っておりますので、来年度は、対象者を70歳到達年度への基準見直しをすることとしております。

**(2)六ヶ所村でのAM・FMラジオの受信障害の改善について**

**岡山議員**

当村でのAM・FMラジオ放送の受信状態は満足出来る物とは言えないと思います。主に車両での移動での移動を余儀なくされる当村にとって、一般情報や娯楽、又は災害・行政の情報を手軽に耳に出来るラジオ放送は、村民はもとより村外からいらっしゃる方々にとっても重要なインフラの一つでは無いのかと考えます。

青森放送のAMラジオを例にとれば、県内では、津軽平野と野辺地町周辺を除く陸奥湾岸での受信状態はおおむね良いが、津軽半島・下北半島の海岸寄り、津軽西部海岸、六ヶ所村の各地域では受信状態が悪い、と言われております。

野辺地町も以前受信状態が悪かったので



すが、改善するために、平成14年に中継局を建設し効果を上げております。

又、参考では有りますが、むつ市では平成9年にコミュニティ放送局としてエフエムむつが開局しており、むつ市も3,000万円出資し、現在は放送委託契約を結び、「1.むつ市政だより」「2.市議会放送」「3.市からのお知らせ」「4.災害時の情報」等を放送し市民に対して積極的に情報提供しております。

尚、現在の放送エリアについては、むつ市の84.3%をカバーしているとの事です。以上のことを踏まえ、当村でもこの受信障害の解消について何らかの対策を講じる事が出来ないものかお伺いします

**古川村長**

の回答

まず、六ヶ所村で聴くことのできる主なラジオ放送ですが、AM放送については、

NHK第1、NHK第2、青森放送の3つの放送、FM放送については、NHK・FM青森とFM青森の2つの放送があります。

各放送局では、県内をカバーするため、数箇所の中継所を設置しており、それぞれ周波数の違うチャンネルによって放送しております。

聴取者は、その中から一番良好な電波のチャンネルを選択して聴取することができます仕組みになっております。

なお、中継所の設置場所やその周波数、電波の強さ（出力）については、電波の持つ特性等を十分に考慮して決めていると伺っております。

次に当村における受信環境ですが、「ご承知のように、当村は変化に富んだ地形を有しており、また、障害物の有無、天候、時間帯などにより、その地域によって多少異

なるものと思いますが、NHK青森放送局によると「県内の状況は、それ相当のレベルにある」との認識であり、「悪い状況にあるとすれば、現地調査も対処可能である」とのことです。

村としては、総務省や関係機関の指導を仰ぎながら、その実態把握に努め、善処してまいりたいと考えております。

**(3)尾駮レイクタウン北造成地の緑化について**

**岡山議員**

尾駮レイクタウン北地区造成地についてであります。村においてはこれまででもテレビCMでの広報活動や助成金の交付等大々的に分譲する為の活動を致しておりますが、以前より耳にしており、先般も現地視察に行った所、西風による土ぼこりがひ





どく、新築住宅はもとより近隣の一般住宅等の既存の建物にも粉塵被害が及んでおります。

村の今後の定住化対策の顔とも言える事業でありますので、早急に自然公園を兼ねた防風林設置や宅地の緑化工事等の防塵の為に何らかの環境対策をすべきと考えます。

又、対策をする上で専門の技術者等に意見を求めて対策することが必要では無いでしょうか。村長のお考えをお伺いいたします。

## 古川村長

### の回答

尾駈レイクタウン北地区宅地開発事業は、定住者のために快適な宅地を提供することを目的としたもので、工事着工から4年目を迎えました。この間分譲された宅地は13区画となり、うち新築8件、建築中が2件となっており、徐々にまちなみを形成しつつあるものと考えております。

さて、お尋ねの緑化計画ですが、議員が憂慮されるように昨年度実施の造成工事により樹木の伐採等で風の遮蔽が少なくなり、さらには近年まれに見る小雪少雨の条件が重なるなど、強風による砂塵が飛散しやすい環境となりました。

村では本年5月に防砂ネットの新設と既設ネットの修繕を実施し、さらには芝生の追加播種を3・4 haにする等、諸対策を講じたところであります。

また、防風効果のある植樹ということですが、街路には、中高木を事業の進捗と共に植栽しており、今後も地区住民の皆様にご迷惑をおかけしないよう諸対策を講じて参る所存であります。

いずれにいたしましても、定住者への快適な環境を提供できるよう留意し、より魅力のある市街地形成へ努力する所存でありますので、ご理解の程をお願い申し上げます。



